ジワジワ **「ボチボチ」~**

吉田 和 雄

ŋ 地域もあるでしょうに、お届け時にはアジサ ことでしょう。 間差に季節の節目がやってくるのがちょっと は2~3週間のズレがあるのですが、 イの花も枯れ真夏の太陽がふりそそいでいる 不思議な気がします。 くことが。小欄を書く時と本誌が届く時期に 事務局だよりで時候の話題にふれると気付 今号では梅雨の最中で豪雨に見舞われた 本誌が届くころには満開にな 前号では桜の開花前に この時

強行されました。 倍政権による集団的自衛権容認の閣議決定が 間にとんでもない決定が。 こんな季節のうつろいにうつつをぬかす間 政治の世界ではアレよアレよという いうまでもなく安

多数派の声とも一致しています。 ちの原点は会の原点であるだけではなく、 す。「殺すな」「武力で平和はつくれない」「9 条改憲に反対し、解釈改憲を認めない世論 価を問われているときはないでしょう。 条実現」という私たちの会の原点が今ほど真 今号では市民の意見30の会・東京の抗 ホームページでも発信していま 閣議決定」 のような暴挙で戦後 にもかかわ 9

> ます。 うか。こうした難問に私たちは引き続き皆さ どのようにつくり出していけばよいのでしょ あり方をかえていくような仕掛けをだれと、 \mathcal{O} の平和憲法が骨抜きにされてしまうの んと共に取り組んでいかねばと思い直してい あり方をかえ、民主主義を揺るがす政治の 憲法の根幹に関わるような重大な政治決定

ました。そこには吉川勇一 ザインを担当していただいた鈴木一誌さん りました。6月12日には今年も意見広告のデ 申し込みがあり、 を見て今年も176名の方々から新規購読の 感謝します。 皆さまからも多数の賛同、ご協力をいただき (本誌にエッセイを連載中)を交え懇親会をもち)5月3日の市民意見広告には、本誌読者の 報告書に同封した本誌の見本誌 読者数は約2000名にな 一本会共同代表も元

木一誌氏 写真、提供:鈴 ました。(下の 気な姿を見せ

広告を」とか に抗議の意見 認の閣議決定 自衛権行使容 す。「集団的 せられていま 想・意見が寄 b 意見広告に いくつか感

> 信社、 を送って下さった方も。私たちにできること ることを信じてやっていきましょう。 ませんが、必ずや「次世代に残す」ものにな は「ジワジワ」「ボチボチ」なことかもしれ 範囲で次世代に残す社会を考えたい」(時事通 紙上デモの参加なら手が届く。 いく。街頭デモによる行動が無理な市民でも、 市民の猛反対があっても国家形成は進んで 「金融財政ビジネス」5・19)と、 各自がやれる 掲載紙

しました。 がチラホラいました。彼らはプラカードなど 性や友達同士でやってきた学生風の若者たち に注目していましたが、 り込んでいるとのこと。 事務局メンバーのNさんは朝9時から終日 時だけでもと思い官邸前に駆けつけました。 とができなかったので、 官邸前まで足を運んできたのかな」と思い直 後で「フツーの学生も漠然とした不安感から のアピールするものを何一つ手にしていませ ん。「何しにきたんや」ともおもいましたが、 ●秘密保護法の強行採決時に国会前に行くこ 私は参加者の顔ぶれ 赤ちゃんを抱いた女 7月1日の閣議決定

とでした。「ジワジワ」「ボチボチ」の行動 の時よりも、 事務局のKGさんによると、 とにつながる予兆かもしれません。 人びとを動かし、政治の流れを変えていくこ 寸暇を惜しんで官邸前まで足を運んでい 幅広い人が参加しているとのこ 秘密保護法反対

、よしだ・かずお/本会事務局長

